

マウス由来のホスホグリセリン酸ムターゼ1、組換え

Cat. No. NATE-1646

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 ホスホグリセリン酸ムターゼ(PGM)は、解糖系のステップ8を触媒する酵素です。これは、

C-3からC-2へのリン酸基の内部移動を触媒し、3-ホスホグリセリン酸(3PG)を2-ホスホグリセリン酸(2PG)に□換します。この過程は、2,3-ビスホスホグリセリン酸中間体を介して行われます。これらの酵素は、補因子依存型(dPGM)または補因子非依存型(iPGM)の2つの異なるクラスに分類されます。dPGM酵素(EC 5.4.2.11)は約250のアミノ酸から構成されており、すべての脊椎動物および一部の無脊椎動物、真菌、細菌に存在します。iPGM(EC 5.4.2.12)クラスは、すべての植物や藻類、さらに一部の無脊椎動物、真菌、グラム陽性細菌に見られます。このPGM酵素のクラスは、アルカリフォスファターゼと同じスーパーファミ

リーに属しています。

別名 Pgam-1; PGAM1

製品情報

種 マウス

由来 E. coli と N-末端で His タグに融合した

形態

EC番号 EC 5.4.2.1

分子量 31.4 kDa

純度 > SDS-PAGEによる95%

活性 >150 ユニット/mg

濃度 1 mg/ml

単位定義 1ユニットは、pH 7.6、37°Cで1分あたり1.0μmolの3-ホスホグリセリン酸を2-ホスホグリセ

リン酸に□換します。

保管・発送情報

保存方法 短期間($1\square 2$ 週間)の保管は $+4^{\circ}$ Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して- 70° Cで

保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。